

PARTICIPATING APPLICATION

受講料 6,000円(2日間)、学生 3,000円

申込方法 所定の申込書に必要事項をご記入の上、FAX、E-mailまたは郵送でお送りください。ホームページからも申し込めます。

対象 保育士、幼稚園教諭、子育て支援関係者親など乳幼児と関わる人
一般参加も歓迎します

定員 600人

締切 定員になり次第締め切ります

お弁当 会場で販売します(1,000円・税込み、お茶付き)。ご希望の方は事前にご予約ください。販売整理券をお送りします。

※販売整理券をお持ちでない方はご購入いただけません。

*受講料は主催者の都合で中止する場合以外は払い戻ししません。



朝日新聞厚生文化事業団「保育大学」係

〒104-8011 東京都中央区築地5-3-2
TEL:03-5540-7446 FAX:03-5565-1643
E-mail:summercollege@asahi-welfare.or.jp
http://www.asahi-welfare.or.jp/

参加者用のご宿泊施設を、日本旅行で手配が可能です。
ご希望の方は、下記へ直接お問い合わせください。7月10日締め切り

株式会社日本旅行 公務法人営業部 営業4課 担当:半田
TEL:03-5402-6472 FAX:03-3437-3955

料金目安
シングル 9,000円(朝食付き)
ツイン 8,000円/1名(朝食付き/2名1室)



PROGRAM



10:10-10:30	開校式	7.19 Fri
10:30-12:30	「子どもの声に耳を傾けて」 ～マジックと音楽と絵本のコンサート～ 大友 剛さん/ミュージシャン、マジシャン、翻訳家	
	昼食休憩	
13:30-15:00	「子どもの虐待とトラウマからの回復」 ～子どもが本来の自分を取り戻すために～ 西澤 哲さん/山梨県立大学教授	
15:15-16:45	「子どもの自己決定を育む保育」 ～子どもの心に寄り添いながら～ 大豆生田 啓友さん/玉川大学教授	

9:00-10:30	「保育と給食」 ～食から広がる子どもの生活～ 島本 一男さん/諏訪保育園園長	7.20 Sat
10:45-12:15	「災害時、保育園に 求められることとは」 天野 珠路さん/鶴見大学短期大学部教授	
	昼食休憩	
13:00-14:30	「保育士コミュニケーション講座」 ～子どもの一番近くにいる保育者の可能性を高めるために～ 松原 美里さん/保育コミュニケーション協会代表	
14:45-16:15	「心豊かに子育て支援」 ～保育士さんに望むこと～ 高野 優さん/育児漫画家	

※プログラムは都合により変更することがあります。

主催/朝日新聞厚生文化事業団
共催/諏訪市
後援/長野県、全国社会福祉協議会、
長野県社会福祉協議会、長野朝日放送



乳幼児を
応援する人が
ステップアップする
2日間

撮影:相澤心也



どなたでも
ご参加いただけます!!

Asahi Summer College of Childcare
第66回 朝日夏季保育大学

2019 7.19 Fri 20 Sat
長野県 諏訪市文化センター

乳幼児を
応援する人が
ステップアップする
2日間

Asahi Summer College of Childcare

2019 | 7.19 (Fri) 20 (Sat) 朝日夏季保育大学

長野県 諏訪市文化センター

講演内容 と 講師 (予定)



7.19
Fri



子どもの声に耳を傾けて

～マジックと音楽と絵本のコンサート～

大友 剛さん / ミュージシャン、マジシャン、
翻訳家
(おおとも たけし)

撮影:相澤心也

子どもの世界を彩る 3つの魔法～マジックと音楽と絵本～があふれる盛りだくさんのコンサートです。子どもたち一人ひとりが主役になれるよう、子どもの興味・関心に寄り添い、一緒に楽しんでいくためのヒントがつまっています。明日の保育に活かせるネタをたくさん持ち帰ってください!!



子どもの虐待とトラウマからの回復

～子どもが本来の自分を取り戻すために～

西澤 哲さん / 山梨県立大学教授
(にしざわ さとる)

虐待やネグレクト、DV家庭で育つことは、子どものその後の人生にどのような影響を与えるのでしょうか。子どもの心理状態やそのケアについて学びます。また虐待等を受けた子どものトラウマからの回復について考え、子どもが本来の自分を取り戻していくために、必要なサポートや、保育者が果たすべき役割を探ります。



子どもの自己決定を育む保育

～子どもの心に寄り添いながら～

大豆生田 啓友さん / 玉川大学教授
(おおまゆうだ ひろとも)

社会情勢の変化、また子どもを取り巻く環境の変化が著しい中、子どもが明るい希望を持ちながら、子ども自身が主体的に社会に関わっていくために、周囲の人たちが子どもたちにどのような支えをするべきかを、昨今の保育を取り巻く制度にも触れながら考えます。

7.20
Sat



保育と給食

～食から広がる子どもの生活～

島本 一男さん / 諏訪保育園園長
(しまもと かずお)

自然を楽しむこと、自分のことは自分で決める力を養うこと、命を伝えること、「食育」にはたくさんの可能性があります。「食育は本来、一人になった時にどのようにして健康的な食生活を、自らの意思で実践していけるかが問われる脳力を育成すること」という視点から、「食」から広がる子どもの生活、食育の本質を考えます。保育の中で給食が果たす役割も確認していきます。



災害時、保育園に 求められることは

天野 珠路さん / 鶴見大学短期大学部教授
(あまの たまじ)

昨今、様々な自然災害が多発しています。災害時に保育園が求められることや、子どもの心身を守り支えるために行うこと、日頃から準備しておくべきことなど、現場での実践につなげて学んでいきます。



保育士 コミュニケーション講座

～子どもの一番近くにいる
保育者の可能性を高めるために～

松原 美里さん / 保育コミュニケーション協会代表
(まつばら みさと)

保育現場で求められる様々な立場の人たちとの関わりを見つめなおすことで、より効果的に、子どもたちや保護者はもちろん、同僚の保育士とチームワークの醸成など、良好な関係を築いていけるような気づきを持ち、日ごろの支援に役立つ方法を学びます。



心豊かに子育て支援

～保育士さんに望むこと～

高野 優さん / 育児漫画家
(たかの ゆう)

保護者からの視点から、「保育士さんに望むこと」「魅力的な保育園になるには？」をテーマに、漫画を描きながら、話をするという独特のスタイルで育児に関する講演を行っていただきます。